

IOWN INTEGRAL

NTT R&D FORUM 2024

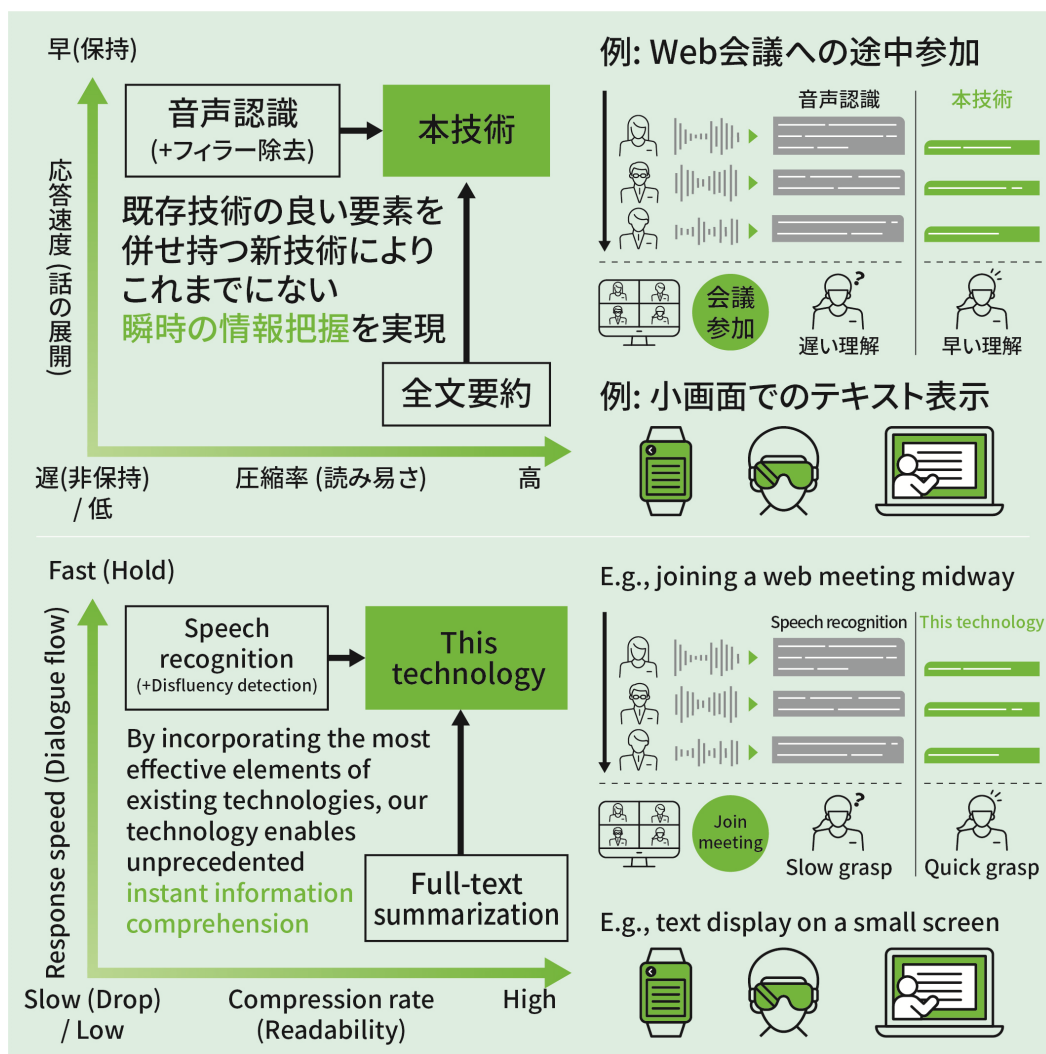
DEVELOPMENT

8 01-03

人らしい意図理解の実現に向けたリアルタイム音声要約

瞬時の情報把握と意思決定を支援する
次世代音声認識技術

#業務効率化 #顧客体験価値向上



///技術課題

長時間の会議などの音声内容を短時間で把握する際、音声認識はリアルタイム性を提供しますが、出力内容は冗長になりがちです。一方、全文要約は読みやすさに優れていますが、リアルタイム性を担保することが困難です。

---要素技術

音声全てを理解するのではなく、人のように要点を的確に捉える技術の確立を目指し、音声認識と全文要約の優れた要素を融合させた新たな技術を開発。コンパクトなモデルにより、適切な音声のまとまりごとに要約を行い、リアルタイム性を維持しつつ効率的な内容把握を実現。

---適用ビジネス

情報通信業分野:

音声アプリケーション分野、例えばWeb会議のリアルタイム議事録や、表示画面の小さいスマートウォッチでの聴覚障がい者向けテキスト表示等に活用可能

(技術確立時期: 2026/1Q)

///研究目標

会議やプレゼンテーションなどの長時間の音声データを全て聴くことなく、長い音声内容を短時間でリアルタイムに把握可能にすることで、業務効率の向上と情報へのアクセス性の改善を実現します。

---市中技術差異点

既存音声認識・全文要約技術は、リアルタイム性・内容の簡潔さ(読み易さ)に関してそれぞれ長所短所があるが、本技術はその2つの技術の優れた要素を融合させることで、迅速かつ効率的に重要な情報を提供することが可能となり、従来技術の限界を超えた新しい音声処理のアプローチを提示。